

# カツオ インド洋

## Skipjack, *Katsuwonus pelamis*



### 管理・関係機関

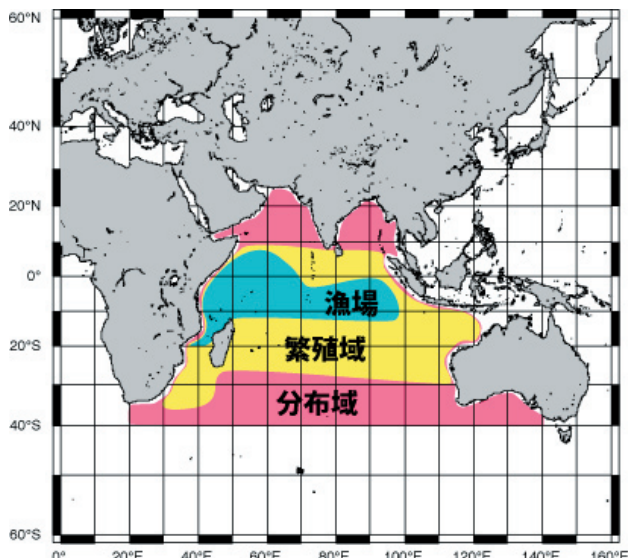
インド洋まぐろ類委員会 (IOTC)

### 最近一年間の動き

2006年の総漁獲量は61.2万トンとなり過去最高を記録したが、2007年には44.7万トンと急減した。これは、ソマリア沖の海賊問題回避のため、ECがソマリア沖300海里でのまき網操業を禁止したことが一因となっている。

### 生物学的特性

- 寿命：6歳以上
- 成熟開始年齢：1～2歳
- 産卵期・産卵場：周年、表面水温24℃以上の海域
- 索餌期・索餌場：周年、熱帯～温帯域
- 食性：魚類、甲殻類、頭足類
- 捕食者：さめ類、海生哺乳類、海鳥類等



インド洋におけるカツオ分布、繁殖域、および漁場

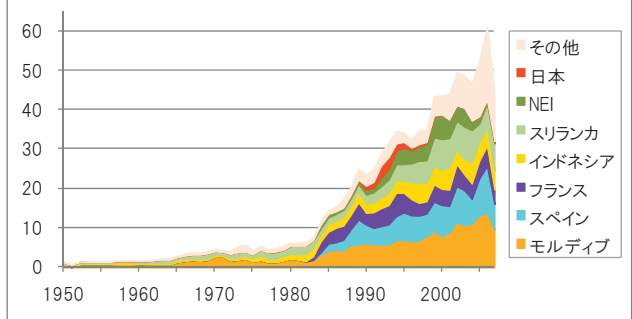
### 利用・用途

缶詰、かつお節、乾燥品などの加工品原料

### 漁業の特徴

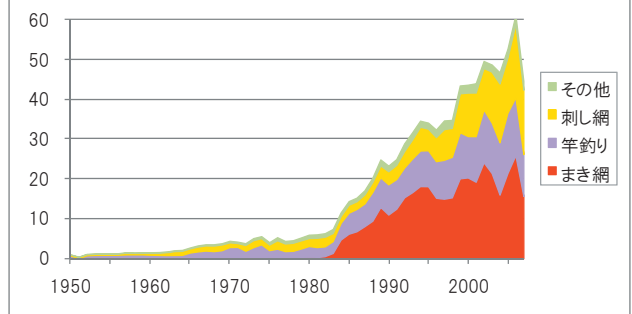
漁獲の約4割はEC(スペイン・フランス)、セーシェル等のまき網、約3割はインドネシア・イラン・スリランカ等の流し網、約2割はモルディブ等の竿釣りによる。まき網の漁獲増はFADs利用の影響が大きく、現在はまき網による漁獲の80%がFADs操業による。日本は、1957年以来、民間まき網船1-2隻が1980年代半ばまで操業していたが、1978年代から海洋水産資源開発センター(現在：独立行政法人水産総合研究センター開発調査センター)日本丸が試験操業を開始し現在までほぼ毎年調査を実施している。1988～2001年までは、まき網(民間船)が増加し最大時には10隻となり、1992～1993年の漁獲は3万トンを超えた。2000年からまき網船は急減し、最近では日本丸の試験操業および1-2隻のまき網船が操業を行っている。

インド洋カツオ 国別 漁獲量 (万トン)



インド洋カツオ国別漁獲量 (1950-2007)  
(IOTC データベース) (2008年10月)

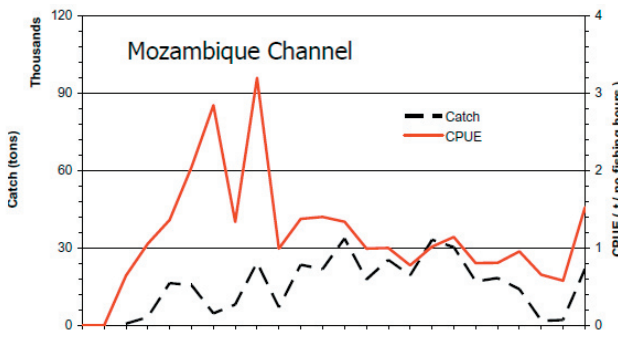
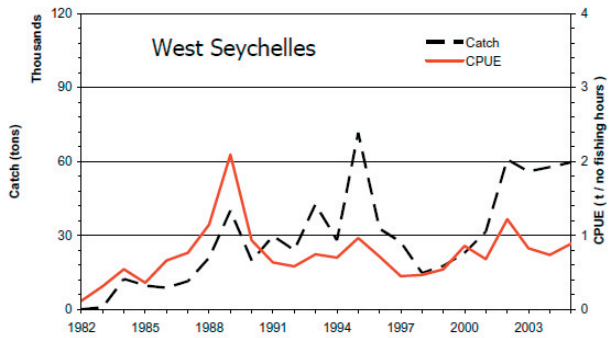
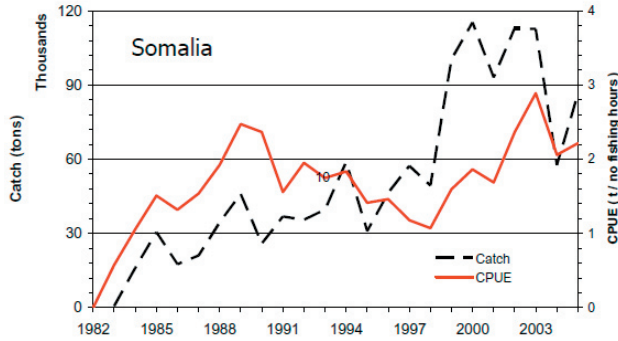
インド洋カツオ 漁法別 漁獲量 (万トン)



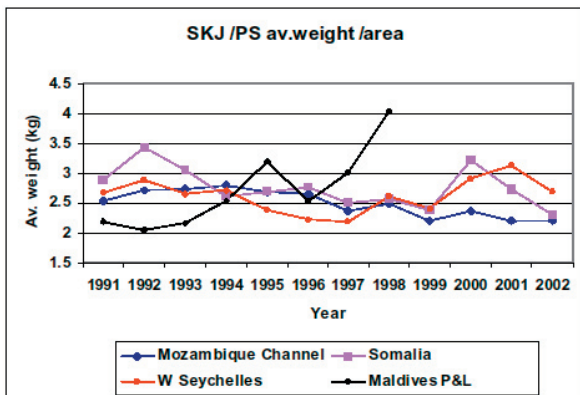
インド洋カツオ漁法漁獲量 (1950-2007)  
(IOTC データベース) (2008年10月)

漁業資源の動向

漁獲量は1950～1983年は最大7万トン程度だったが、西インド洋でまき網漁業が本格化した1984年には10万トンを超え、1992年には30万トン、1999年には40万トン、2005年には50万トン、2006年に60万トンを超えた。2007年は、ソマリア沖海賊問題でソマリア沖300海里以内で操業できず、45万トンへ急減した。



まき網の海域別漁獲量とCPUE (IOTC, 2007)。(上：ソマリア沖、中：セーシェル西部沖、下：モザンビーク海峡) 1983～2006年。



まき網 (モザンビーク海峡 (青)、ソマリア (ピンク)、セーシェル西部沖 (オレンジ)) とモルディブの竿釣り (黒) で漁獲されたカツオの平均体重の経年変化 (IOTC, 2003)

資源状態

2007年の第10回熱帯まぐろ作業部会で資源解析した結果以下のことが分かった。最近のまき網漁獲物サイズは、モザンビーク海峡でやや小型化した。全体では大きな変化はない。まき網のCPUEは、近年においては少なくとも減少傾向にあるとはいえないと推察される。また、モルディブの竿釣りのCPUEも、近年増加傾向にある。これら漁獲物サイズ・CPUEの経年変化と漁獲量の推移を見る限り、資源に問題があるとは判定できない。さらに、2008年の第11回熱帯まぐろ作業部会でを行った資源解析 (2007年までのデータを使用した豊度指数、平均体重など) の結果も、現在のカツオ資源はoverfishingの兆候はまったくなく、生産性の高いことも考慮すると健全な状態にあることが再確認された。

管理方策

第10-11回の熱帯まぐろ作業部会における資源解析の結果、2008年の第11回科学委員会は、緊急な資源管理措置の必要性はない、と勧告した。しかし、FADs利用等の操業方法の変化で、狭い範囲に漁獲の集中が進めば、東部大西洋で可能性が指摘されているような漁獲物の小型化や漁獲の減少に伴う地域的な乱獲も起こりうるため、予防的な監視が必要である。

資源評価まとめ

- 資源評価はIOTCにより実施
- CPUEは一部漁業を除き増加傾向、漁獲物平均体重には経年変化が見られず、漁獲量は増加傾向
- 資源的に問題があると判定できない

資源管理方策まとめ

- 資源管理策は勧告されていない
- 狭い範囲への漁獲の集中による地域的乱獲の可能性の監視が必要
- 大規模まき網漁業と伝統漁業の競合の懸念
- 2003年IOTC年次会議で全長24m以上の漁船の総隻数等を制限

カツオ (インド洋) の資源の現況 (要約表)

資源水準	高位
資源動向	横ばい
世界の漁獲量 (最近5年間)	46.9～61.3万トン 平均：50.9万トン
我が国の漁獲量 (最近5年間)	1.5～4.0千トン 平均：2.6千トン